

再分配のエスノグラフィ

「再分配の人類学」再生の試み

国民国家のなかの福祉制度にかかわるものから、首長制社会での儀礼的再分配まで、世界のさまざまな国や地域における再分配の実践の様態を具体的に捉え返すことによって、停滞気味だった再分配研究の活性化をめざす。

——なぜいま再分配の人類学なのか？ 2010年代、経済政策としての富の再分配の重要性を指摘し、最低賃金の上昇を旗印にした社会運動が国内外で注目され、支持を集めた。いっぽう、人類学における「再分配」は、市場とは異なるものであり、市場に対抗するための手段であるという見方が提示されてきた。人類学における「再分配」と所得再分配政策としての富の再分配は、国民国家を前提としているかどうかや、格差の是正を

志向しているかどうかなど大きく異なる点もあるが、共通している部分もある。本書では、人類学で古典的に議論されてきた、より小規模の再分配的な実践だけではなく、所得再分配政策における富の再分配とその影響についても射程に収める。再分配的な実践の多様性を提示するとともに、個々の地域や集団、さらに国家における実践の特徴を抉り出し、人類学において再分配について議論する現代的な意味を明らかにする。

【目次】

序論 再分配を通じた集団の生成

——手続きと複数性に注目して（浜田明範）

第Ⅰ部 再分配をめぐる政治

第1章 誰がボタンを押すのか

——フィンランドの緊急通報システムにみる要求／提供のダイナミクス（高橋絵里香）

第2章 再分配制度としての介護保険法とコミュニティの再編

——沖縄・離島社会を事例に（加賀谷真梨）

第3章 再分配のアナロジー

——インドにおける生モラルと国家制度の重なり合い（田口陽子）

第Ⅱ部 集団の生成

第4章 メラネシア人類学における再分配の境界

——「集団」と「戦争」をめぐる（里見龍樹）

第5章 執拗なる共食の実践

——ガーナ北部の西ダゴンバ地域における穀物の不足と同居家族の経済関係（友松夕香）

第6章 再分配を通じた村人のつながりと差異化

——マイクロネシア・ポーンペイ島における首長制と住民の帰属意識（河野正治）

第7章 12月のブランカン

——ガーナ南部において集める／集まるということ（浜田明範）

【編著者】

浜田 明範（はまだ・あきのり）

関西大学社会学部准教授。専門は医療人類学、アフリカ地域研究。

【執筆】

高橋 絵里香（たかはし・えりか）

千葉大学大学院人文科学研究科准教授。専門は文化人類学、医療人類学。

加賀谷 真梨（かがや・まり）

新潟大学文学部准教授。専門は文化人類学、民俗学。

河野 正治（かわの・まさはる）

日本学術振興会特別研究員 PD / 京都大学大学院人間・環境学研究科。専門は文化人類学、オセアニア地域研究。

田口 陽子（たぐち・ようこ）

一橋大学大学院社会学研究科講師。専門は文化人類

学、南アジア地域研究。

友松 夕香（ともまつ・ゆか）

日本学術振興会特別研究員。京都大学人文科学研究科。専門は農業史、家族史、ジェンダー関係史。

里見 龍樹（さとみ・りゅうじゆ）

早稲田大学人間科学学術院専任講師。専門は文化人類学・メラネシア民族誌。

取り扱い書店・ご担当者様

国立民族学博物館論集⑥

再分配のエスノグラフィ

経済・統治・社会的なもの

【編】 浜田明範

冊

体裁=A5判・250頁
定価=本体 2,800円+税
ISBN=978-4-86582-036-2



FAX 03-3812-7504

TEL 03-3812-6504 <http://www.yushokan.co.jp/>
〒113-0033 東京都文京区本郷 3-37-3-303

【取次】トーハン・日販・大阪屋栗田・八木書店・鎌谷書店 ※委託制

【目次】

序 「近代ヒスパニック世界と文書ネットワーク」の構想と課題（吉江貴文）

I 文書循環サイクルの成立過程

- 1 スペイン帝国の植民地統治と文書 中央アメリカのチアパス地方王庫（1540-1549）を事例として（小原正）
- 2 スペイン帝国の文書ネットワーク・システムとフィリピン——インディアス総合文書館所蔵フィリピン総督文書の検討——（清水有子）
- 3 検索可能なアーカイブの構築——スペイン異端審問の文書管理——（坂本宏）
- 4 イエズス会のグローバルな文書ネットワーク・システム——スペイン領南米パラグアイ管区の「年報」を中心に——（武田和久）

田和久）

II 文書の物質的諸相

- 5 紙の上の集住化 イエズス会ペルー管区モホス地方の洗礼簿の分析（齋藤晃）
- 6 植民地都市ラパスにおける公証人の文書作成術と公証人マニュアルの影響（吉江貴文）
- 7 テンプル／聖ヨハネ騎士団カルチュラルと文書管理——生成・機能分化・時間——（足立孝）

III 帝国周辺社会における文書ダイナミズムの実相

- 8 有力入植者と王権をつないだ文書：初期メキシコ植民地の事例から（横山和加子）
- 9 植民地時代メキシコ中央部の先住民

村落における「権原証書（Títulos primordiales）」の作成と使用（井上幸孝）

- 10 先住民の文書利用——17世紀ペルー・ワマンガの公正証書の分析を通じて（溝田のぞみ）
- 11 スペイン領メキシコにおける簿記行為——シモン・バエスの帳簿を中心に（伏見岳志）

IV 研究者の集合知

12 「近代ヒスパニック世界における文書ネットワーク・システムの成立と展開」研究者の集合知の可視化の試み（中村雄祐）

付論「集合知の可視化プロジェクト」に対する編者からのコメント（吉江貴文）

参考文献

国立民族学博物館論集⑤

近代ヒスパニック世界と文書ネットワーク

〈文書主義〉が、スペイン植民地帝国を作り上げた原動力だった！

マドリードの王宮から、新大陸およびフィリピンの植民地最末端にいたるまで、二つの大洋をまたいで縦横に行き交った膨大な文書群をさまざまな角度から読み解き、スペイン帝国形成の原動力を究明。

——スペイン帝国の統治機構においては、マドリード王宮の発する命令書簡からインディアス（新大陸およびフィリピンのスペイン領植民地）の最末端で作成された先住民請願書に至るまで、さまざまな文書が無数に行き交い、二つの大洋をまたいで縦横に横断することで、大陸間を接続する壮大な文書ネットワークが展開された。そうした広域ネットワークの網の目に沿って、植民地経営の実務を支えるヒトやモノ、情報の流れが構造化され、領域の隔々にまで拡張されることで、

近代初期ヨーロッパにおいて類をみない規模の帝国を支えた統治機構の礎が整備されていたのである——本書は、多面的かつ複雑な、スペイン帝国の文書主義の実態について、スペイン、ラテンアメリカ、アジア各地での実地調査を通じて史料分析の研鑽を積んだエキスパートたちの知見を総合し、中世までヨーロッパの一辺境にすぎなかったスペイン王国を世界規模の一大帝国へと押し上げた原動力について、文書研究の視座から究明することを主な目的とする。（本書より）

【編著者】

吉江 貴文（よしえ・たかふみ）：広島市立大学国際学部准教授。専門は文化人類学、ラテンアメリカ地域研究。

【執筆】

足立 孝（あだち・たかし）：広島大学大学院文学研究科准教授。専門は歴史学、西欧中世史。

井上 幸孝（いのうえ・ゆきたか）：専修大学文学部教授。専門は歴史学（メキシコ史・メソアメリカ史）。

小原 正（おぼら・ただし）：慶應義塾大学経済学部専任講師。専門は歴史学、メキシコ近世史。

齋藤 晃（さいとう・あきら）：国立民族学博物館人類文明誌研究部教授。専門は文化人類学、ラテンアメリカ研究。

坂本 宏（さかもと・ひろし）：中央大学経済学部准教授。専門は西洋史・スペイン史。

清水 有子（しみず・ゆうこ）：明治大学文学部准教授。専門は近世日本対外関係史。

武田 和久（たけだ・かずひさ）：明治大学政治経済学部専任講師。専門は歴史学、ラテ

ンアメリカ史、ラテンアメリカ地域研究。

中村 雄祐（なかむら・ゆうすけ）：東京大学大学院人文社会系研究科文化資源学専攻教授。

伏見 岳志（ふしみ・たけし）：慶應義塾大学商学部教授。専門はラテンアメリカ、大西洋、スペイン帝国の歴史。

溝田 のぞみ（みぞた・のぞみ）：同志社大学嘱託講師。専門はアンデス史。

横山 和加子（よこやま・わかこ）：慶應義塾大学商学部教授。専門はメキシコの植民地時代。

取り扱い書店・ご担当者様

国立民族学博物館論集⑤

近代ヒスパニック世界と文書ネットワーク

【編】吉江貴文

冊

体裁=A5判・398頁
定価=本体 3,600円＋税
ISBN=978-4-86582-035-5



悠書館
YU SHO KAN

FAX 03-3812-7504

TEL 03-3812-6504 <http://www.yushokan.co.jp/>
〒113-0033 東京都文京区本郷 3-37-3-303

【取次】トーハン・日販・大阪屋栗田・八木書店・鎌谷書店 ※委託制